

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	伝熱小委員会	主 査 名：宿谷 昌則 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)	委員長名：久野 覚 主 査 名：猪岡 達夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 建築の伝熱問題に関わる研究開発・性能検証・評価を幅広く取り上げる。</p> <p>・ 具体的には、窓・壁など伝熱の基本問題、これらを総合したファサードエンジニアリングの問題、建築と都市とのインターフェースの問題、建築と設備とを一体に捉えたエネルギー・資源の有効活用などに関する問題を取り上げる。</p> <p>2010 年度：各 WG の活動分野における研究課題を収集し、研究を推進する。</p> <p>2011 年度：各 WG の研究を推進するとともに、熱シンポジウムの企画を始める。</p> <p>2012 年度：各 WG の研究をまとめて、熱シンポジウムを開催する</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無し</p> <p>主査：宿谷 昌則(東京都市大学), 幹事：西岡 真稔(大阪市立大学), 浅輪 貴史(東京工業大学), 一ノ瀬 雅之(東京理科大学), 猪岡 達夫(中部大学), 菊田 弘輝(北海道大学), 長井 達夫(東京理科大学), 長谷川 兼一(秋田県立大学), 井上 隆(東京理科大学), 秋元 孝之(東京都市大学), 藤井 晴行(東京工業大学), 尾崎 明仁(京都府立大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>[熱環境システム設計 WG]： 建築と空調を総合的なシステムと捉え、空調空間の熱環境設計を行うための手法を検討・整理し、省エネルギーと良好な熱環境形成一般化と普及に資する。</p> <p>[熱性能 WG]： 建築のエネルギー消費抑制と室内温熱環境の向上を目的として、建物外皮性能、室内温熱環境性能等に関わる評価手法の整理・検討を行う。</p> <p>[建築・都市熱環境 WG]： 建築と都市の熱環境に関する最先端の研究や新技術について議論するとともに、それら研究・技術の現状と課題を整理する。</p>	
2009 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s13/">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s13/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 2009年度は3WGを中心に、各分野の研究課題を収集し、研究の方向性を見定めた。(達成度 70%) 2. 小委員会およびWGの活動について、WEBにより公開している。(80%)</p>
<p><b>委員会活動の問題点・課題</b></p>	<p>1. 委員が多忙のため欠席者が増加している。 2. 熱シンポジウム(2013年予定)に向けて、方向性を明確化し、研究を推進することが課題である。</p>

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。